

令和3年度「材料・空間の感性・快適性評価に関する産学連携セミナー」開催のお知らせ

森林や木材に触れ合うことが人間の生理・心理面に及ぼす効果について社会的に関心が高まっています。このような効果に関するエビデンスデータが求められる中、今後アンケート調査を行う機会も多くなると考えられます。一方、心理・調査データの収集・解析方法については、体系的に学ぶ機会が少なく、なんとなく設問を設定して実施するケースも多いのですが、これでは期待した成果を挙げるのは難しいと言わざるを得ません。そこで今年度は、長年に亘り建築分野での心理・調査研究を手がけてきた早稲田大学人間科学学術院の小島隆矢教授と白川真裕講師をお招きし、心理・調査データを取り扱う際の調査の計画、調査票の設計、データの分析から結果の解釈まで、一連の流れを集中的に学ぶセミナーを企画いたしました。多数の方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

主催：(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所

共催：三重大学大学院生物資源学研究所 (連携大学院)

後援：(一社) 日本木材学会居住性研究会, 同地域木材産業研究会, (公社) 日本木材加工技術協会木質仕上げ部会, (公社) 日本木材保存協会, 木材利用システム研究会, 森林産業コミュニティ・ネットワーク (FICoN)

CPD：森林分野 CPD 認定プログラム (第1回, 第2回ごとに CPD 量：4)

日時：第1回 令和3年10月15日(金) 13:00~17:00

第2回 令和3年11月12日(金) 13:00~17:00

開催方法：森林総合研究所大会議室からオンライン配信

(インターネットによるリモート参加とライブ配信を併用)

参加費：無料 (完全事前登録制, 1回のみ参加も可)

申込方法：森林総合研究所ホームページ上の申込フォームからお申し込みください。

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20211015seminar/index.html>

定員：リモート参加 (Microsoft Teams を予定)：各回 250 名 (先着順)

ライブ配信 (YouTube)：上限無し

※ ライブ配信での参加の場合、質問はメールにて頂き、後日回答いたします。

テーマ及び講師：

第1回 適切に心理・調査研究を実施するために (研究の設計・計画の考え方)

早稲田大学人間科学学術院 白川真裕講師

心理・調査研究を実りあるものとするためには、事前に仮説を立て、それを検証するために必要十分な研究方法を設計、計画することが肝要です。調査研究や被験者実験における心理評価にあたっての予備的調査、評価項目の設定、サンプルサイズの考え方など、実際の研究紹介を交えて解説します。

第2回 心理・調査研究データをどう解析するか (研究方法に応じたデータ解析法)

早稲田大学人間科学学術院 小島隆矢教授

調査研究や心理評価データの解析方針は研究の計画段階で決めておくべきですが、実際は得られたデータを前にしてどのような統計処理を行うか悩んでいたりしませんか。心理・調査データの解析方法について、さまざまな研究事例を挙げて、その分析方法について、なぜその統計解析を行うのか、その考え方から実際の解析まで解説します。

※ 各回の最後に、調査や統計処理に関する参加者の皆様からの疑問や相談に答える時間を設けます。

問合せ先：(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 杉山真樹

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

Tel : 029-829-8305 E-mail : comfortwood@ffpri.affrc.go.jp